

(様式15)

警 鳴 装 置 点 檢 表

検査項目		検査内容	補正・補修事項	判定
本体	外函	厚さ1mm以上の鉄板は腐食等生じていないか。		適・否
	錠	南京、えび錠を使用していないか。(錠)		適・否
	開口部	雨、雪、虫等が入り難い構造となっているか。 外部から回路、警報部に直接接触しえないか。		適・否
警報器	種類			適・否
	音量	1mの距離で80ホーン以上あるか。 (ホーン)		適・否
回路		庫内電流は10ミリアンペア以下になっているか。		適・否
		切断により警報、警鳴が鳴るか。		適・否
		保安装置(避雷器、ヒューズ)は正常か。		適・否
		装置の作動テストにより、スイッチを押したとき、警報、警鳴が鳴るか。		適・否
電源		電圧の消耗状況を示すメーター、表示灯は正常に作動しているか。		適・否
		交流使用の場合、停電等により自動的に予備電池に切り替わるか。		適・否
その他		警報を止めるスイッチ、作動テストスイッチ、電池及びメータ一類は収納設備の内部に設けてあるか。		適・否
		故障箇所の発見、部品取替、修理が容易に行えるよう予備品、取替品等は用意してあるか。		適・否
備考				